

研究集会『生物流体力学における流れ構造の解析と役割』 プログラム (2013-10-07 版)

日時: 2013 年 11 月 11 日 (月) - 13 日 (水)

会場: 京都大学 数理解析研究所 110 号室

- 最新情報は, <http://fluid.hiroshima-u.ac.jp/~makoto/> から,
『研究集会「生物流体力学における流れ構造の解析と役割」』をクリックしてご確認ください。
- 発表者の氏名には*がついています。統合講演は講演題目に がついています。

11 月 11 日 (月)

10:25-10:30 Opening

10:30-11:00 *南 慶輔, 稲室 隆二 (京都大学大学院工学研究科)

「トンボの自由飛翔における前翅と後翅の位相差の役割」

11:10-11:40 *坂上貴之 (京都大学大学院理学研究科), 横山知郎 (京都教育大学教育学部)

「二次元多重連結領域における非圧縮流体の流線構造の位相分類と語表現」

13:00-14:00 伊藤慎一郎 (工学院大学工学部)

「生物の飛翔, 遊泳時の渦, スポーツに関する渦」

14:20-14:50 *鈴木康祐, 稲室隆二 (京都大学大学院工学研究科)

「蝶を模した 3 次元羽ばたき翼モデルによる自由飛翔とピッチング安定性」

15:00-15:30 *横山 直人 (京都大学大学院工学研究科), 飯間 信 (広島大学大学院理学研究科), 泉田 啓 (京都大学大学院工学研究科), 平井 規央 (大阪府立大学大学院生命環境科学研究科)

「蝶の羽ばたき飛翔の縦方向運動の時間スケール」

15:40-16:10 *米原善成, 佐藤克文 (東京大学大気海洋研究所)

「ダイナミックソアリングのスケーリング則」

16:20-16:50 *右衛門佐 誠, 水口 毅 (大阪府立大学大学院工学研究科), 早川 美徳 (東北大学教育情報基盤センター)

「Ordered structure in pigeon flocks -analysis of GPS trajectory data - 」

11 月 12 日 (火)

09:10-09:40 *島谷 健一郎 (統計数理研究所)

「動物の GPS 軌跡データと方向統計学」

09:50-10:20 *泉田 啓, *李 承珪, 山本 啓貴, 横山 直人 (京都大学航空宇宙工学専攻)

「羽ばたく蝶の実験とパネル法モデルに基づく制御の検討」

10:30-11:00 *庄司 江梨花, 泉 俊輔, 西森 拓, 粟津 暁紀, 飯間 信 (広島大学大学院理学研究科)

「ミドリムシ生物対流の局在構造ダイナミクスの解析」

- 11:10-11:40 *末松 J. 信彦 (明治大学大学院先端数理科学研究科)
「微生物の走光性にともなう局在対流パターンの光応答性」
- 13:00-14:00 *石川 拓司 (東北大学大学院工学研究科)
「細胞スケールから解き明かす生物流れ」
- 14:20-14:50 *高松 敦子 (早稲田大学先進理工学部), 石川 拓司 (東北大学大学院工学研究科), 篠原 恭介,
濱田 博司 (大阪大学大学院生命機能研究科)
「動物のからだの左右を決める回転繊毛間の流体相互作用」
- 15:00-15:30 *高橋 直也, 谷越 脩生, 高水 祐輔 (東京電機大学工学部), 野田 茂穂, 姫野 龍太郎 (理化学
研究所)
「回流水槽を用いたルアーの計測」
- 15:40-16:10 *阪上 雅昭, 寺山 慧, 炭谷 竜太 (京都大学人間環境学研究科)
「魚群のダイナミクスと情報伝達」
- 16:20-16:50 *松本剛 (京都大学大学院理学研究科)
「メソスケール生物流体乱流の特性」
- 18:00-20:00 懇親会

11月13日(水)

- 09:10-09:40 *風間 俊哉, 小林亮, 飯間信 (広島大学理学研究科)
「ヒラムシ遊泳に見られる柔構造と流体の相互作用ダイナミクス」
- 09:50-10:20 *矢田貝 弦 (東北大学大学院情報科学研究科), 服部 裕司 (東北大学流体科学研究所)
「魚群遊泳運動の流体力学的特性の数値シミュレーション研究」
- 10:30-11:30 *竹内伸太郎 (大阪大学大学院工学研究科), Lucy Zhang (レンセラー工科大学)
「流れと柔軟構造物の連成シミュレーション」
- 11:50-12:20 *石本 健太 (京都大学数理解析研究所)
「精子の遊泳と境界の相互作用」
- 12:20-12:25 Closing

世話人・問い合わせ先:

飯間 信 (広島大学大学院理学研究科) email: makoto@mis.hiroshima-u.ac.jp

この研究会は RIMS 共同研究「生物流体力学における流れ構造の解析と役割」の一環として行われます。

また, 科学研究費基盤研究 (C)(23540433) の援助を受けています。